

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立苗代小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	阿倍野区
学 校 名	大阪市立苗代小学校
学 校 長 名	山本 勝巳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立苗代小学校では、第6学年 87名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立苗代小学校の結果概要

- 平均正答率に関して、全国平均を国語科は6.1ポイント、算数科は3.6ポイント上回った。
- 国語科においては、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容で7.9ポイント、「情報の扱い方に関する事項」の内容で8.0ポイント、「読むこと」の内容で、8.8ポイント、「記述」の内容で8.3ポイント全国平均より正答率が高く、すべての領域において、全国平均を上回った。
- 算数科においては、特に「数と計算」の領域で6.7ポイント、「データの活用」領域で5.1ポイント全国平均より正答率が高く、すべての領域において、全国平均を上回っている。観点別では、「思考・判断・表現」の観点で6.0ポイント全国平均より上回った。
- 平均無解答率についても、国語科は0.9%、算数科1.3%であり、それぞれ全国平均より2.5ポイント、1.9ポイント下回った。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

- 【国語】「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかみる」問題について、正答率が85%を超えており、成果がみられた。一方で、「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題について、正答率が41%であり課題がみられた。
- 【算数】「小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる」問題について、正答率が95.4%あり成果がみられた。一方で、「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」問題について、正答率が13.8%であり課題がみられた。

質問調査より

- ◎「自分には、よいところがあると思いますか」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は、57.5%であった。(昨年度50%)
- ◎「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は51.7%(昨年度31.4%)
- ⇒両方とも、全国平均を大きく上回っている。授業で協働的な活動をより多く取り入れ、様々な学習の中でお互いに認め合い協力することで、自分のよさに気づいたり、友達の考えを取り入れることで、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。
- ◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は、86.2%であった。(昨年度79.1%)
- ⇒今後も、「どちらかといえばそう思う」と答えた児童を減らせるように、いじめは絶対に許さないという学校全体の取り組みを継続させていく。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は、69.0%であった。(昨年度68.6%)
- ⇒1学期末の校内児童アンケートに同質問はないが、「係・当番活動等で自分の役割を果たしている」と肯定的な回答をした児童の割合は77%と高く、学級でしっかりと自分の仕事を果たし、人の役に立とうとする姿がうかがえる。
- △「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は、52.9%であった。(昨年度59.3%)
- ⇒1学期末の校内児童アンケートでは「将来の夢や目標を持っている」の項目に最も肯定的な回答をした児童の割合は76%となっている。今後も夢授業等を活用しながら学校全体でキャリア教育を進めていく。

今後の取組（アクションプラン）

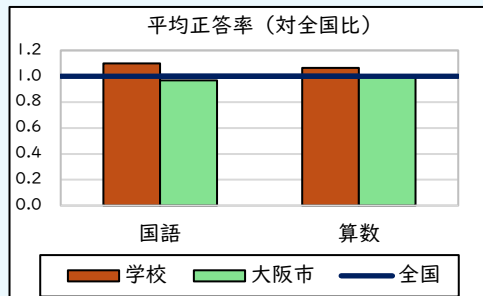
本年度も国語科で「言葉がもつよさを感じ、表現できる子どもを育む国語科の取り組み～主体的・対話的な文学的文章の読みを通して～」をテーマに「文学的な文章」を題材としてあつかい、児童が物語の世界に主体的に関わりながら、自ら問いをもち、言葉を手がかりに他者との対話を通して考えを広げたり深めたりしていく学びを推進する。児童の主体的・対話的な深い学びにつなげる、各学年の発達段階に応じた、新たな交流活動の工夫について取り組んでいく。低学年で「つなぐ」心地よさを感じ、中学年で「意見の広がりや深まり」の楽しさを実感してきた児童が、高学年においてさらに「今の自分にとってどのような学び方が必要か」を考え、交流を通して考えを深めるのか、自身で思考を深めるのかを選択しながら学習に取り組むことができるようにする。

この各学年での交流における目指す姿を校内で共有し、その達成に向けて交流の形を工夫することで、どの教科の学習においても「協働的な学び」を充実し、学習の中での児童間の互いの立場や考えを尊重した対話の実現を目指す。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

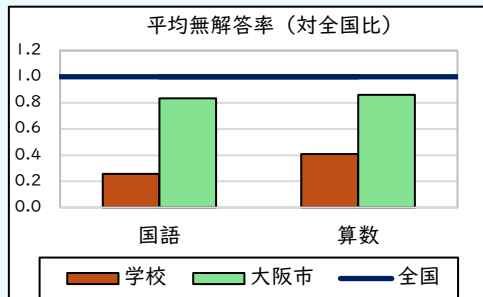
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	60
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



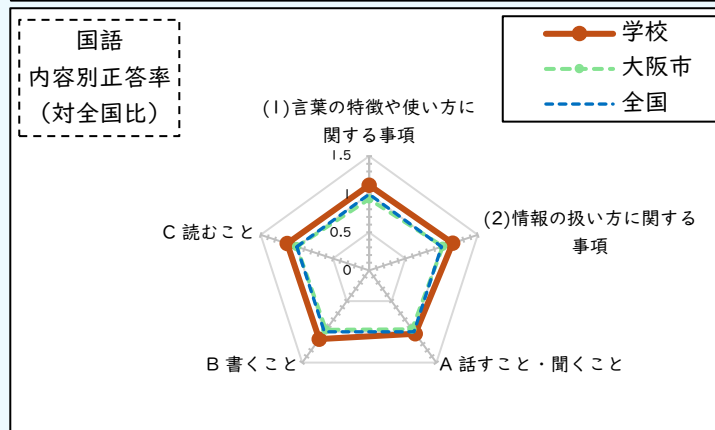
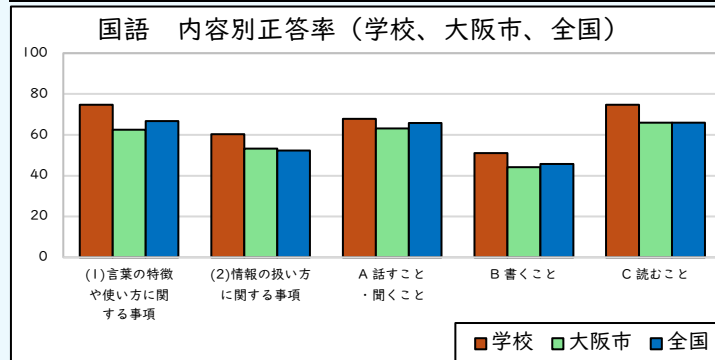
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.9	1.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



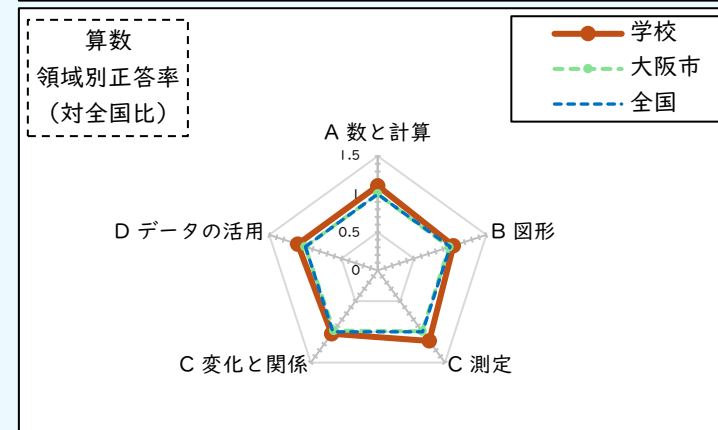
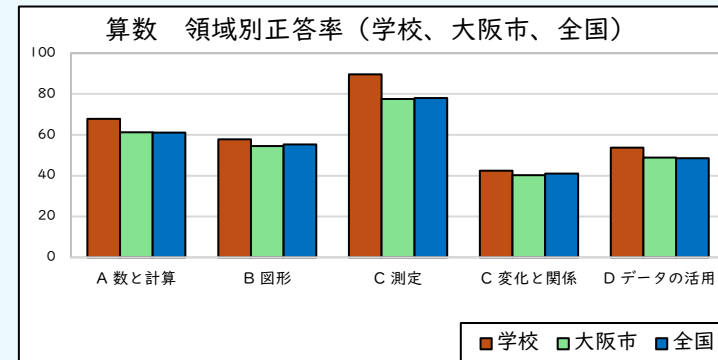
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	74.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	60.3	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	67.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	51.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	74.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	67.8	61.2	61.1
B 図形	4	57.8	54.5	55.3
C 測定	1	89.7	77.5	78.1
C 変化と関係	3	42.5	40.3	41.1
D データの活用	4	53.7	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

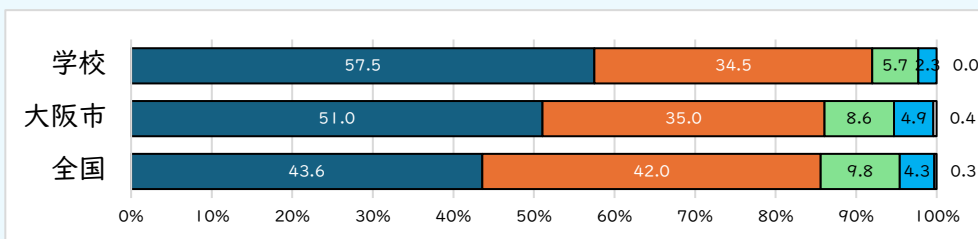
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

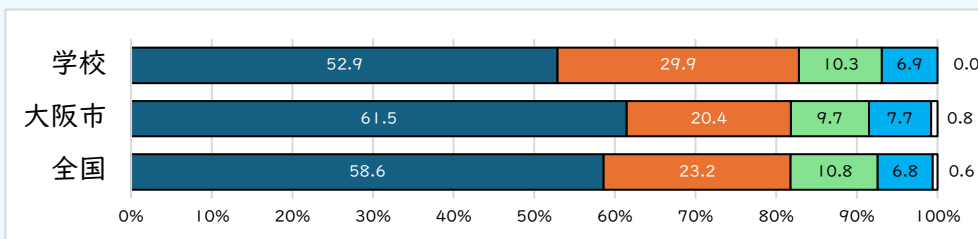
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



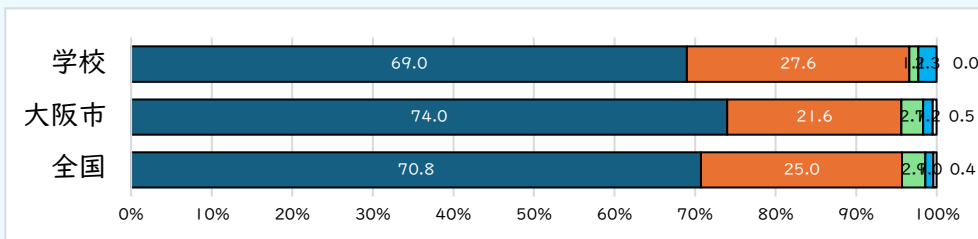
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



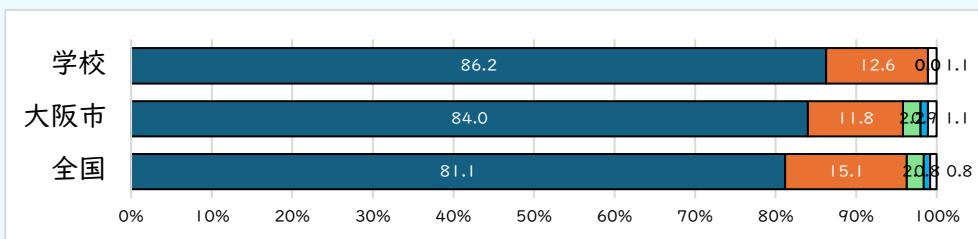
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



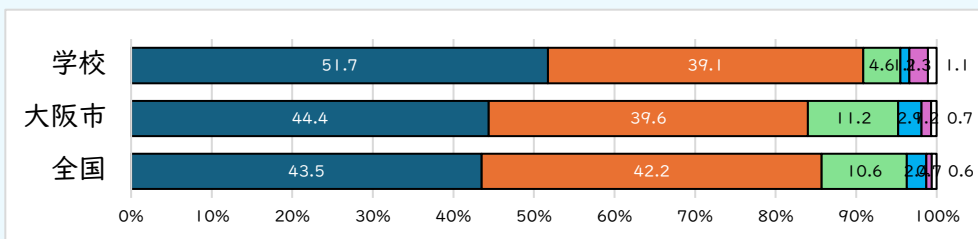
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

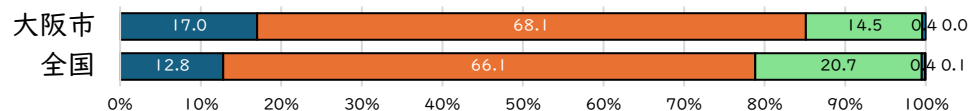
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(27)

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

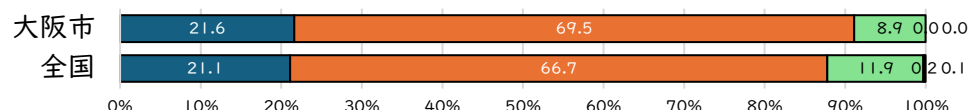


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

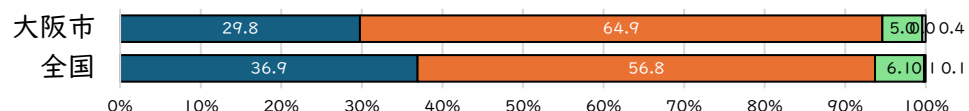


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(41)

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している

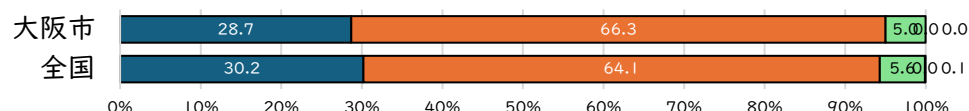


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(47)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

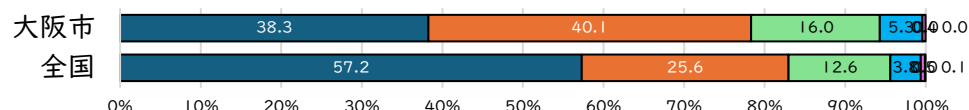


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満